

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリーブキッズせんかわ（重症心身障害児）			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 30日 ～ 2025年 9月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年 9月 3日 ～ 2025年 9月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、具体的な支援内容が設定された個別支援計画書が作成されている。また、計画に沿った支援が行われている。	職員間でこどもの様子をこまめに共有し、意見交換を通じて多角的に分析できている。また、定期的に目標を振り返り、計画に沿った支援を職員が一体となって行えるようにしている。	引き続き、支援の振り返りを定期的に行い、支援方法や環境設定について改善点を見出しながら適切な計画を立て、より質の高い支援につなげていく。
2	こどもたちが安心して楽しく通える環境が整っており、高い満足度につながっていること。	こどもの安全を確保できるよう、必要に応じて物の位置を変えるなど環境整備には特に気をつけている。また、こどもたちが楽しめるイベントや外出プログラムも積極的に取り入れている。	日々の活動に新しいレクリエーションを取り入れ、楽しさを継続できるよう工夫する。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、健康や発達状況について共通理解ができている。	利用児の健康や発達の状況に合わせて、日々の小さな変化も見逃さず保護者に共有している。また、保護者から得た情報を職員間で共有し、意見交換の場を設けることで、適切な支援方法を検討できるよう努めている。	職員間での知識や経験の差を補うため、情報をわかりやすく整理して共有し、誰もが共通理解を持てる体制づくりを進めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの整備状況や、防災訓練や研修の実施状況が保護者に伝わっていない。	各種マニュアルは事業所内に掲示されているが、存在や内容について保護者に十分に周知できていない。防災訓練は年に2回実施し、研修も定期的に行っているものの、その情報を保護者へ十分に発信できておらず、取り組みが見えにくくなっている。	マニュアルの概要や、訓練・研修の実施状況を保護者にも知っていただけるよう、デジタル連絡ツールやSNS等で発信していく。
2	児童館との交流や、地域のほかのこどもと活動する機会が少ない。	毎年9月の土曜日に町会の御神輿に参加し、地域のこどもたちとの交流がある。また、豊島区が開催しているペギーボールのイベントで他事業所との交流もあるが、当日が利用日ではなかったご家庭には情報が共有できていなかった。	引き続き、なるべく多くの利用児が地域のイベントに参加できるよう日程を調整していく。
3	保護者同士が交流する機会や、家族等が参加できる研修会の機会を設けられていない。	就労している保護者が多く、保護者会の実施が難しい。	イベントへの招待で交流できる機会を設けるようにする。また、豊島区からのイベントのお知らせを共有し、事業所外のイベントでも交流できるよう情報共有をしていく。